

茨城県立古河第二高等学校 教科シラバス

教科名	科目名	単位数（時間数）	学科・学年
福祉	こころとからだの理解	2単位（70時間）	福祉科・1年
教科書（発行所）	こころとからだの理解（実教出版）		
教科書以外の教材（発行所）	こころとからだのしくみ（中央法規）		
目 標	○介護従事者として基本的なこころのしくみについて理解する。 ○介護従事者として基本的なからだのしくみについて理解する。 ○生活支援と心身の構造の関連性を学び、安全で安楽な介護技術に活用できる能力を養う。		
評価方法	☐ 授業への参加姿勢、ノートに記載充実度。課題・宿題等の提出状況と内容充実度。 ☐ 定期考査における得点。		

月	学習内容	ねらい	学習活動
4	オリエンテーション	・使用教材と授業概要を知る。	☐ 講義 ☐ グループワーク
	第1編 こころとからだの基礎的理解		
	第1章 こころの理解		
5	(1)私たちの生活と健康	・健康の定義や人間の欲求を知る。	
	(2)人間の欲求の基礎的理解	・マズローの理論について理解する。	
6	(3)動機づけ	・尊厳について理解を深める。	
7	(5)思考・感情のしくみ	・記憶や知能の定義を知る。記憶のしくみを理解する。	
	(6)学習・記憶のしくみ	・知能の定義を知る。	
	(7)知能のしくみ	・適応機制を理解する。	☐ 講義 ☐ DVD視聴
8	～夏期休業～		
9	第2章 からだのしくみの理解	・各部位の名称を覚える。	
	(1)生命維持・恒常性のしくみ	・それぞれの基本的な機能について、介護従事者として要介護者の心身の特徴を把握するため専門的知識な知識を身に付ける。	
10	(2)脳・神経系のしくみ		
	(3)運動器系のしくみ		
	(4)循環器系のしくみ		
	(5)消化器系のしくみ		
	(6)呼吸器系のしくみ		
11	(7)感覚器系のしくみ		
	(8)内分泌系のしくみ		
	(9)泌尿器系のしくみ		
	(10)生殖器系のしくみ		☐ 講義 ☐ グループワーク
	(11)血液・免疫系のしくみ		
12	第2編 生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解	・生活支援技術を安心、安全、安楽に支援するための心の構造を理解する。	
	第1章 生活動作に関するこころとからだのしくみ		☐ 講義 ☐ グループワーク
1	(1)身じたくに関するこころとからだ	・生活支援と心身の構造の関連を考	

2 3	のしくみ (2)移動に関するところとからだのしくみ (3)食事に関するところとからだのしくみ (4)入浴に関するところとからだのしくみ (5)排泄に関するところとからだのしくみ (6)睡眠・休養に関するところとからだのしくみ 第2章 生活場面の变化に関するところとからだのしくみ (1)感染に関するところとからだのしくみ (2)緊急時に関するところとからだのしくみ (3)災害時に関するところとからだのしくみ (4)終末期に関するところとからだのしくみ	察し、根拠に基づいた介護技術を提供するために必要な身体各部位と構造を統合する。 ・からだの機能低下や障害が及ぼす影響について理解し、その予防方法について考察する。 ・緊急時や災害時の対応について理解する。 ・終末期の家族の関わり方について理解する。 ・終末期に必要な他職種との連携について考察する。	☐講義 ☐グループワーク
担当者からのアドバイス	●授業内容や指示の聞き逃しを避けるため、欠席しないように努めましょう。 ●毎時の内容を理解するとともに板書された内容はノートに写しましょう。 ●授業後及び考査前には十分に復習し、理解の促進と知識の定着を図りましょう。 ●課題や宿題などは指示された期日を守って提出しましょう。		

教科名	科目名	単位数（時間数）	学科・学年
福祉	こころとからだの理解	3単位（105時間）	福祉科・2年
教科書（発行所）	こころとからだの理解（実教出版）		
教科書以外の教材（発行所）	発達と老化の理解（中央法規） 認知症の理解（中央法規）		
目 標	○介護従事者として必要な、基本的な老年期の発達課題や高齢者に多い疾病を理解し、加齢に伴う心身の変化と日常生活への影響について理解する。 ○認知症ケアの歴史や理念を含む認知症を取りまく社会的環境などについて理解する。 ○認知症の基礎的な知識を学び、認知症の人を中心に据え、本人や家族、地域の力を活かした認知症ケアについて理解する。		
評価方法	☐ 授業への参加姿勢、ノートの記載充実度。課題・宿題等の提出状況と内容充実度。 ☐ 定期考査における得点。		

月	学習内容	ねらい	学習活動
4	オリエンテーション	・使用教材と授業概要を知る。	☐ 講義
5	第3編 発達と老化の理解 第1章 人間の成長と発達 (1)発達	・発達、発達段階、発達課題とは何かを学ぶ。	
6	(2)発達段階 (3)発達課題	・理論家の定義やモデルを学ぶとともに個人差について理解する。	
7	第2章 老年期の理解と日常生活 (1)老年期の定義と特徴 (2)加齢に伴う心身の変化の特徴 (3)加齢に伴う心身の変化と日常生活への影響 (4)高齢者の心理	・老年期について、基礎的知識を学習する。 ・高齢者の身体面・心理面について学習し、それぞれを結びつけて習得する。	☐ 講義 ☐ DVD視聴
8	～夏期休業～		
9	第3章 高齢者と健康 (1)高齢者の疾病を生活上の留意点 (2)高齢者の健康の維持・推進 (3)保健・医療職との連携	・高齢者に多い疾患を、介護と関連させながら理解する。	☐ 講義 ☐ グループワーク
10	第4編 認知症の理解 第1章 認知症を取りまく状況 (1)認知症ケアの歴史を理念	・認知症ケアの歴史と理念について、現状も含めて理解する。	☐ 講義 ☐ グループワーク
11	(2)認知症高齢者の現状と施策		
12	第2章 認知症の基礎的理解 (1)認知症による症状 (2)認知症の診断	・認知症の医学的・心理的側面から基本的な知識を身に付ける。	☐ 講義
1	(3)認知症の主な病気の特徴 (4)認知症の治療・予防		

2	第3章 認知症に伴う心身の変化と日常生活 (1)認知症の人の特徴的な症状 (2)認知症に伴う日常生活への影響	・介護従事者として必要な認知症の特徴的な行動障害や周辺症状の背景を理解し、日常生活への影響を考察する。	☐ 講義 ☐ グループワーク
3	第4章 認知症と地域サポート (1)地域におけるサポート体制 (2)家族への支援	・認知症の支援体制や関連する多職種との連携や協働、チームアプローチ及び家族への支援を学ぶ。	☐ 講義
担当者からのアドバイス		●授業内容や指示の聞き逃しを避けるため、欠席しないように努めましょう。 ●毎時の内容を理解するとともに板書された内容はノートに写しましょう。 ●授業後及び考査前には十分に復習し、理解の促進と知識の定着を図りましょう。 ●課題や宿題などは指示された期日を守って提出しましょう。	

教科名	科目名	単位数（時間数）	学科・学年
福祉	こころとからだの理解	3単位（105時間）	福祉科・3年
教科書（発行所）		こころとからだの理解（実教出版）	
教科書以外の教材（発行所）		障害の理解（中央法規）	
目 標	○介護従事者として必要な障害と疾患の基礎的な知識を習得する。 ○障害者福祉の基本的理念を理解し、国際障害分類から国際生活機能分類への障害のとらえ方の変遷とその意味について理解する。 ○障害者の生活を国際生活機能分類の視点から考え、心理的支援や家族支援について理解する。		
評価方法	□授業への参加姿勢、ノートの記事充実度。課題・宿題等の提出状況と内容充実度。 □定期考査における得点。		

月	学習内容	ねらい	学習活動
4	オリエンテーション	・ 使用教材と授業概要を知る。	☐ 講義
5	第5編 障害の理解 第1章 障害の基礎的理解 (1)障害の概念	・ 障害とは何かを学び、国際生活機能分類を知る。	
6	(2)障害者福祉の基本理念	・ 障害者福祉に関する法律や理念について学習する。	
7	第2章 生活機能障害の理解 (1)身体障害	・それぞれの障害の種類と原因や関係する症状、各障害の特性を理解する。	☐ 講義
8	～夏期休業～		☐ D V D視聴
9	(2)精神障害 (3)知的障害		
10	(4)発達障害 (5)高次脳機能障害 (6)難病	・障害者および家族への心理的支援や障害受容への支援、日常生活での困難さについて考察する。	☐ 講義 ☐ グループワーク
11	第3章 障害に伴う心身の変化と日常生活 (1)障害のある人の心理	・障害者が地域で暮らしていくための連携や障害者の生活を支援するサポート体制について理解する。	☐ 講義 ☐ D V D視聴
12	(2)障害に伴う機能の変化と日常生活への影響		
1	第4章 障害と地域生活支援 (1)障害のある人の地域生活上の困難と支援 (2)障害のある人の地域サポート体制 (3)家族への支援		

担当者からのアドバイス	●授業内容や指示の聞き逃しを避けるため、欠席しないように努めましょう。 ●毎時の内容を理解するとともに板書された内容はノートに写しましょう。 ●授業後及び考査前には十分に復習し、理解の促進と知識の定着を図りましょう。 ●課題や宿題などは指示された期日を守って提出しましょう。
--------------------	--